

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者:友松知宏

1. 概要

| | | |
|-------|-------------------------------------|------------------|
| 地域分類 | 山陽3 | |
| 歩行区間 | 第1回 : スタート地点:水島大橋西詰、 | ゴール地点:JR宇野駅(宇野港) |
| | 第2回 : スタート地点:JR宇野駅、 | ゴール地点:宝伝港 |
| | 西大寺永安橋を計画していたが、歩行を2度に分けた都合で、宝伝港まで延長 | |
| 実施期間 | 第1回 : 平成28年11月15日(火)~18日(金) | |
| | 第2回 : 平成28年12月12日(月)~13日(火) | |
| 全歩行距離 | 第1回 : 49.6Km | |
| | 第2回 : 50.4Km | 合計 = 100.0Km |
| | | |

2. メンバー表

| No. | 役割・分担 | 氏名 | 年齢 | 歩行日数 | 備考 |
|-----|---------|-------------|-----|------|---------|
| 1 | リーダー&記録 | 友松知宏 | 76歳 | 6日 | 8期 |
| 2 | — | 河中郁典、信子、北仁美 | — | — | 友人、観光のみ |

3. 歩行の概要

第1回歩行

| | 月日 | 出発地 ~ 到着地 | 歩行距離 | 参加者 | 備考 |
|---|--------|---|-----------------|-----|-------|
| 1 | 11月15日 | JR米子駅=新倉敷駅=水島大橋西詰 ~下津井亭(下津井) 鷺羽山久須美鼻 ~下津井亭 | 18.9Km 3.9Km | 友松 | 下津井亭 |
| 2 | 11月16日 | 下津井亭=久須美鼻 ~宇野港 =直島宮ノ浦港=木村エリア | 26.8Km | 友松 | 民宿竹ノ屋 |
| 3 | 11月17日 | 直島観光 宮ノ浦港=宇野港=JR呉駅 | — | 友松 | インド屋 |
| 4 | 11月18日 | 豊島、大崎下島観光 =広島=JR米子駅 | — | 友松 | |

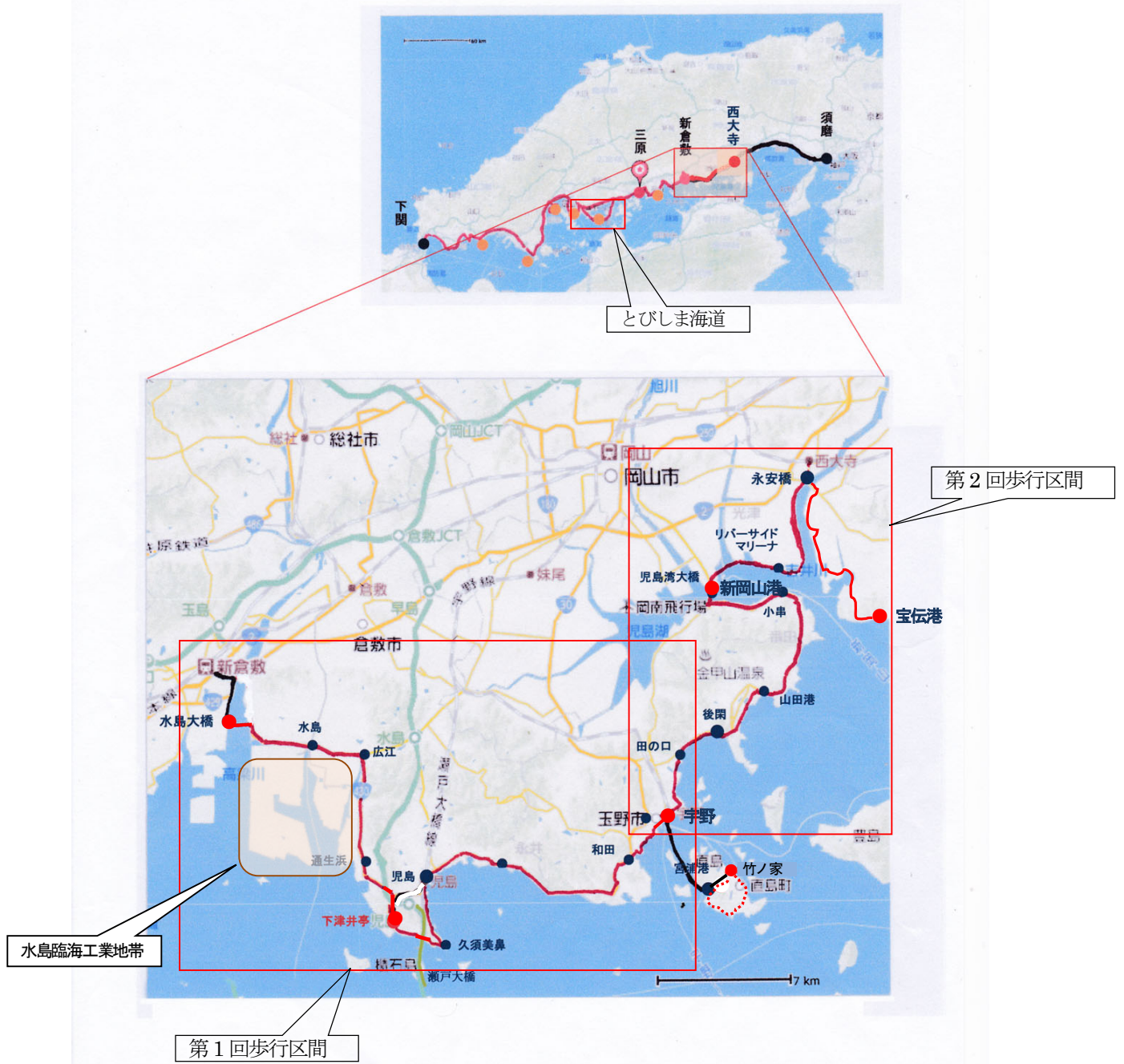
第2回歩行

| | 月日 | 出発地 ~ 到着地 | 歩行距離 | 参加者 | 備考 |
|---|--------|----------------------------------|--------|-----|-------|
| 1 | 12月12日 | JR米子駅=JR宇野駅 ~新岡山港 =JR岡山駅 | 27.2Km | 友松 | ホテル新子 |
| 2 | 12月13日 | JR岡山駅=新岡山港 ~宝伝港 =西大寺=JR米子駅 | 23.2Km | 友松 | |

4. 参加費

| | | | |
|-----|------|--------|---------|
| 交通費 | JR | 9,760円 | |
| | バス | 8,330円 | |
| | タクシー | 6,580円 | 24,670円 |
| 宿泊費 | | | 24,760円 |
| 飲食費 | | | 7,181円 |
| その他 | 入館料 | | 500円 |
| 合計 | | | 57,111円 |

5. 地図



6、歩行の詳細

〔第1回歩行〕

11月15日(火) 曇り一時雨

5:35 JR米子駅＝倉敷＝07:39JR新倉敷駅(コンビニで朝食)＝タクシー＝水島大橋8:30 出発～10:20 三菱自動車工場(水島)～11:40 八間川沿いに南下～12:35 宇野津交差点コンビニで昼食。雨が降り出し、雨具を着ける。14:30 通生漁港下津井亭(荷物預け)＝タクシー＝鷺羽山久須美鼻。18:00 下津井亭。チェックイン。下津井は蛸が有名で下津井亭は割烹旅館。鯛と蛸の造り、鯛の兜煮、鯛めし、フグの天ぷらが今夜のご馳走。
2食付きで1万1千円。安い!



水島大橋西詰より水島方面



今夜のメニュー



下津井亭から瀬戸大橋を望む

11月16日(水) 晴れ

8:45 下津井亭＝バス＝9:15 久須美鼻/鷺羽山不動明前でリコーダ練習、10:00 歩行開始。

10:40 大島漁港/軽トラで水蛸を捌いている赤城増巳さんと立ち話。大きな水タンクを載せて、蛇口から水を流しながら調理。完全な移動調理場である。

11:25 児島駅、12:30 琴浦港、14:00 児島唐琴のコンビニKで昼食。[琴警鐘台]のバス停がある。津波のときに警鐘を鳴らす場所がこの上の高台にあるのだろう。14:40 倉敷市/玉野市境、

15:10 渋川港。航空写真では鼻操鼻の海岸沿いに歩けそうだったが、水際の傾斜がかなりきつく、釣人に聴いても危険と言うので断念、県道を歩く。

後で分かったのだが、鼻操鼻は三井金属日比製煉所の敷地で、通行不可能。

16:10 中国観音霊場の札所観音院前

16:45 玉野第1、第2 隧道～玉野市街地へ。左手にトンネルがあり、近道と思われたのでそちらに進路をとる。立派な道が車両進入禁止。通りがかりの人に尋ねたら、鉄道廃線跡をそっくり歩行者・自転車専用の道路にしたとのこと。

2Kmほどして、通りがかりの人に再度道を尋ね、海岸に向かう。18:00 目的地宇野港に到着。弁当屋で酢豚弁当と缶ビールを仕入れ、港の待合室で一人打ち上げ式。18:53 宇野港＝フェリー＝19:23 直島の宮浦港到着。宿の迎車で民宿竹ノ屋へ。



軽トラの調理場で蛸を捌く赤城さん、



渋川海岸から鼻操鼻。



日比製煉所、煙突は明治時代の遺構



玉野の市街地を抜ける自転車専用道



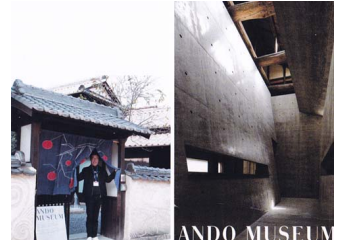
直島行宇野港

11月17日(木) 晴れ

午前中、電動自転車を借りて直島の南半分を輪行。
直島はアートの島で、その中核は地中美術館。建築家安藤忠雄氏の設計で建物が景観を損なわないよう地下に造られている。モネの睡蓮の大作があるが一度観ており、時間もないので素通り。
13時過ぎに木村エリアにもどりうどん屋に入る。外国人も器用に箸でうどんを食べている。その後、安藤ミュージアムへ。普通の民家の門の足元にANDO-MUSEUMのパネルがたてかけてあるだけで、うっかり通り過ぎてしまった。作品は地下に展示されており、地中美術館と同じコンセプトである。
宿に戻り、宮浦港に送ってもらい、岡山=広島経由で呉に行き、ビジネスホテル「インドヤ」に投宿。



宮浦港のアート/赤かぼちゃ



安藤忠雄美術館/展示室の上に木の構造が見える(パンフより)

11月18日(金) 曇り

9:50に音楽ユニットの「げんきなこ」こと河中夫妻と北さんが車で迎えにきてくれ、とびしま海道を豊島に向かう。ご夫妻とは昨年6月に江田島を歩いた時に知り合った北さんの紹介で友達になった。
11:20に豊島のお好み焼き屋「お好みまりちゃん」に到着。ミニコンサートを予定していたが、客が立て込んでいるので、隣の大崎下島の御手洗の観光を先にすることにした。
御手洗は江戸時代から海の男たちの歓楽の街として栄え、今も街全体がレトロの時代のなかに生きているようで、時計修理専門のお店があったりする。当時賑わったであろうお茶屋の建物や、昔ながらの劇場があり、いまも古い映画を上映している。舞台上げんきなこのお二人に、立っていただいた。



古時計修理専門の時計屋さん



黒沢映画「用心棒」近日上映

3時過ぎに「まりちゃん」にもどり、きなこさんが3曲歌った。
最初の曲「島風」で男勝りと思っていた女主人マリちゃんが眼鏡をはずして眼を拭っている。げんきなこの二人が東京で働いていたところに、故郷の両親を想って作った歌であるが、マリ子さんにも同じ思い出があったのだろうか。涙もろい北さんの眼もうるんでいる。
4時前に出発。坂駅で北さんと二人は下してもらい、広島から18:40発のバスで米子に帰る。



お好みまりちゃん
中央赤福がきなこさん
左端青い服がマリ子さん

〔第2回歩行〕

12月12日(月) 晴れ/曇り

5:38 JR米子発=岡山=9; 10 JR宇野駅9:30発~10:30 慈照院~
11:25 鳥打峠~12:00 東野崎の埋立地の岸壁に沿って歩き県道に戻ろうとしたところ、水路が入りこんでいて戻れない。500mほど戻る。
12:45 藤食堂(胸上)。今日のコースで唯一、食事のできる場所。コンビニ



JR宇野駅(手前はトド?の像)

ニもなく、バナナ1本しか持っていなかったので助かった。ラーメンを注文。たべながら雑談。店の奥から海苔を出してきて、焼いてくれる。「今年の1番摘み」とのこと、出発前にTVの「ためしてがってん」で1番海苔の話を聴いたばかりなので、驚いた。かなり高価なものである。「もう少し焼いた方が・・・」とうっかり言うと、新しいのをまた焼いて出してくれる。「もったいないから」と遠慮するが「自分は食べないから」と結局4枚食べてしまった。たぶん、ラーメンとコーヒー代750円より高価なものをサービスしてもらい、幸せな気分です、次の目的地へ向かって出発。14:56 玉野/岡山市の境。予定より遅れており、急ぐ。15:00 米崎～15:30 小串。この間は埋立地で、雑草が茂った荒地か、鉄条網で仕切られた太陽光発電所が続く、気分が滅入る。16:00 鼻面崎、このあたりから、今日、最後にわたる児島大橋が見えてくる。17:05 児島大橋たもと。30mほどの階段を上る。仮の階段で、足元が悪く、薄暗くなったこともあって、緊張する。橋を渡り終えたころには完全に日が暮れる。新岡山港に近いから標識なども完備しているはずだが、街灯がないので標識もあるのかないのかわからない。港と思われる方向に進むが、ますます暗くなってしまいうので、先ほど通った運送会社にもどり、道を尋ねた。地図を写し間違えていて、港は更に先。港からでる予定の岡山行バスに間に合わないと半分諦めたが、それでもと小走りに港へ急ぐ。バスの発車時刻ちょうどに港に到着。バスが止まっているのがみえて、手を振りながら駆けて行くと、「早く乗ってください」とスピーカーで催促。飛び乗ると同時にドアが閉まる。煌々と明かりを満載した小豆島行のフェリーを横目に発車。いい写真が撮れたのにと、バスに飛び乗ったことを半分後悔しながら、それでもほっとして岡山に向かう。



藤食堂の藤原さん



小豆島行のフェリー（翌日の写真）

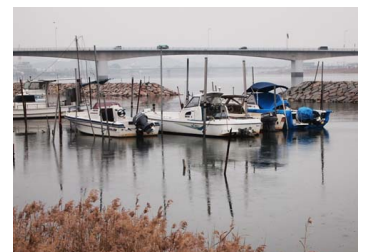
12月13日（火） 曇り～雨

6:25 岡山駅前発＝バス＝新岡山港 7:30 出発。児島湾岸道を東進。道沿いに四つ手網の小屋が並んでいる。漁をするためというよりも遊漁のためのものらしく、どの小屋にもバーベキューの道具が置いてあり、カラオケ完備の看板も目につく。



四つ手網小屋

9:10 リバーサイドマリーナ前から、通行止め。吉井川河口の堤防の改修工事をしている。「津波対策」らしい。一般の車両は湾岸の内側の水路にかかっている橋を渡り、岡山港方面に逆戻りするように誘導されているが、水路の縁に2m幅の道がついており、地図では判断できないのだが、何とかかなりそうに思われたので、水路にそって、吉井川方向に進路をとる。



西大寺大橋とその奥に永安橋

11:10 永安橋到着。計画ではここが目的地であるが、2回に分けたために午前中の到着となり、天候も何とかかなりそうなので、コースを延長し、宝伝港まで歩くことにする。雨が落ち始め、本格的な雨となる。

宝伝港は精練で栄え、今はアートが一体化した犬島への渡船場で、犬島の繁栄が沿岸にも及んだらしく、その名残と思われる由緒のありそうな旧家がある。



水門町の旧家。往時の繁栄が偲ばれる

正義の集落で道が入り組み、道を訊く。「車で送る」と親切に言っただ

さるが、お礼を言ってお断りする。

130mの山道を登りきると、峠に天津神社の立派な社がある。ノーマークだったので少なからず驚いたが、時間が押しているので、素通り、久々井の集落に下る。教えられたとおりに集落を抜け、今一つの山道を超すと、県道252号に合流。15:20 宝伝港に到着。

15:51 の西大寺行きバスに乗り、岡山経由で米子に帰る。



宝伝港／犬島への渡船場である。

7、水島臨海工業地帯

海岸線の突起部分（岬など）の何か所かを歩いていないが、いずれも地図ならびYahoo航空写真などで一般道路が見つからず、また実際に現地で観察してみて、水際がかなり切り立って歩行不可能であることを確認している。

ただし、水島臨海工業地帯（第5項地図参照）は、断片的ではあるが歩けそうな道路が見えており、歩ける可能性を完全には否定できない。

今までも航空写真等で歩けると思い、また近くのゴルフ練習所に電話で確かめたうえで行ってみたら、製鉄会社の敷地内であったりしたこともあり、今回は計画から除外した。

この日本の海岸線を歩くプロジェクトが終わるまでに、現地の状況が明らかになり、連続して歩けることが判明したら、穴埋め歩行に行きます。

以上